

「第76期 定時株主総会」資料



いちよし証券株式会社
2018年6月23日(土)

いちよし証券の概要	1
いちよし証券の営業拠点	2
経営環境	3

第一部:2018年3月期決算(連結)の状況

1. 収支の状況	5
2. 純営業収益の内訳	6
3. 受入手数料の内訳	7
4. 販売費・一般管理費の内訳	8
5. 貸借対照表及び財務の状況	9

第二部:業績のハイライトと 中期経営計画の進捗状況

1. 受入手数料の推移	11
2. 預り資産の推移	12
3. コストカバー率(月額平均)の推移	13
4. コストカバー率(四半期)の推移	14
5. 幹事会社数の推移(累計)	15
6. 中期経営計画の進捗状況	16

第三部:今後の経営戦略

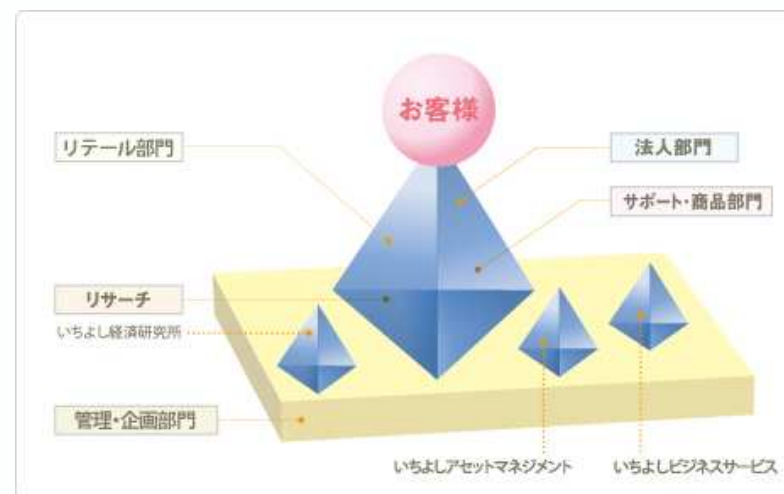
1. 中期経営計画達成に向けた 「預り資産」の拡大	20
2. 「トライアングル・ピラミッド経営」による シナジー効果	24
3. コーポレート・ガバナンスの強化充実	29

創 立	1950年8月18日
上 場 市 場	東京証券取引所第1部 (東京・大阪証券取引所第1部指定 2006年3月) (東京・大阪証券取引所第2部上場 1989年4月)
資 本 金	145億77百万円
発行済株式総数	44,431,386株 (うち自己株式 1,699,220株)
営 業 拠 点	東京本店および49ヵ店(2018年5月現在)
従 業 員 数	1,051名(連結ベース)

連結子会社	資本金	いちよし証券議決権比率
いちよし経済研究所	20百万円	100.0%
いちよしアセットマネジメント	490百万円	97.0%
いちよしビジネスサービス	240百万円	100.0%

(間接所有を含む)

トライアングル・ピラミッド経営



当社グループ全体に占めるいちよし証券の比率は、
総資産比率94.6%、営業収益比率88.4%

全国49カ店
(2018年5月現在)

近畿地方19支店

- ・大阪支店
- ・神戸支店
- ・難波支店
- ・加古川支店
- ・今里支店
- ・西脇支店
- ・針中野支店
- ・加西支店
- ・石橋支店
- ・2014年12月1日 統合
- ・岸和田支店
- ・高田支店
- ・枚方支店
- ・学園前支店
- ・八尾支店
- ・御坊支店
- ・伏見支店
- ・田辺支店
- ・西宮支店
- ・環支店
- ・2010年4月12日 統合

東北地方2支店

- ・大北盛岡支店
- ・大北水沢支店
- ・2010年10月28日 資本参加
- ・2013年3月4日 統合

関東地方9支店・4出張所

- ・銀座支店
- ・ブラネットプラザ 小田原
- ・ブラネットプラザ 中野
- ・上大岡支店
- ・ブラネットプラザ 成増
- ・ブラネットプラザ 向ヶ丘
- ・赤坂支店
- ・浦安支店
- ・中目黒支店
- ・千葉支店
- ・吉祥寺支店
- ・越谷支店
- ・横浜支店
- (本店)(いちよしダイレクト)

中部地方5支店・1出張所

- ・名古屋支店
- ・伊勢支店
- ・岡崎支店
- ・ブラネットプラザ 志摩
- ・飯田支店
- ・伊那支店
- ・2010年2月24日 資本参加
- ・2011年1月4日 統合
- ・2012年2月6日 統合

統合6地方証券

- ・環証券(和歌山県)
- ・飯田証券(長野県)
- ・佐世保証券(長崎県)
- ・伊勢証券(三重県)
- ・大北証券(岩手県)
- ・西脇証券(兵庫県)

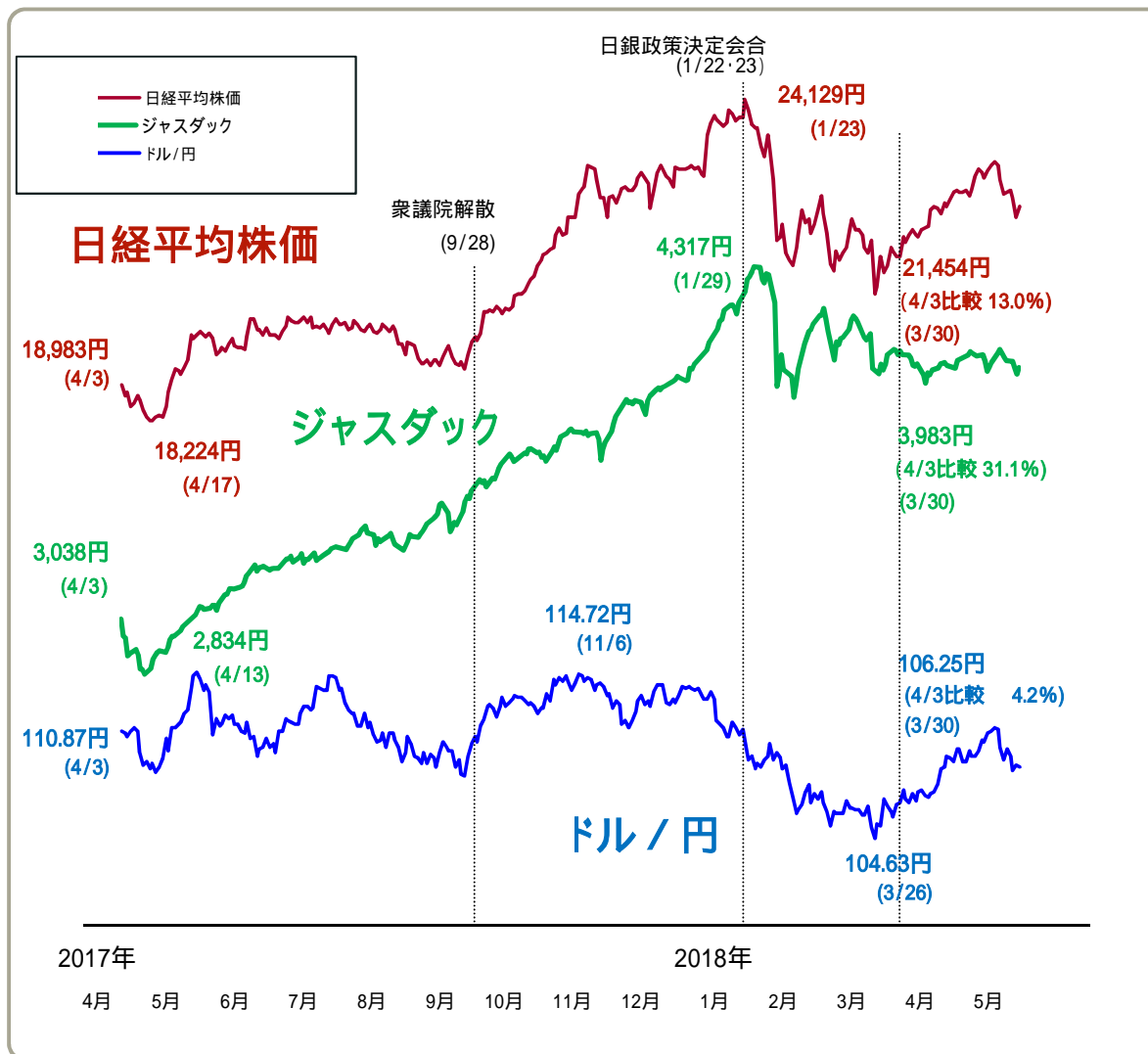
中国・四国地方4支店・1出張所

- ・岡山支店
- ・ブラネットプラザ 児島
- ・倉敷支店
- ・広島支店
- ・小豆島支店

九州地方4支店

- ・大牟田支店
- ・佐世保支店
- ・諫早支店
- ・唐津支店
- ・2011年1月4日 統合

市場の推移 (2017年4月 ~ 2018年5月)



一日平均売買代金

東証一部

2018年3月期 29,570億円

2017年3月期 25,424億円

増減率 16.3%

ジャスダック

2018年3月期 871億円

2017年3月期 472億円

増減率 84.4%

第一部：2018年3月期決算(連結)の状況

1. 収支の状況

営業収益は、前期比57億8,700万円(27.9%)増加の265億200万円

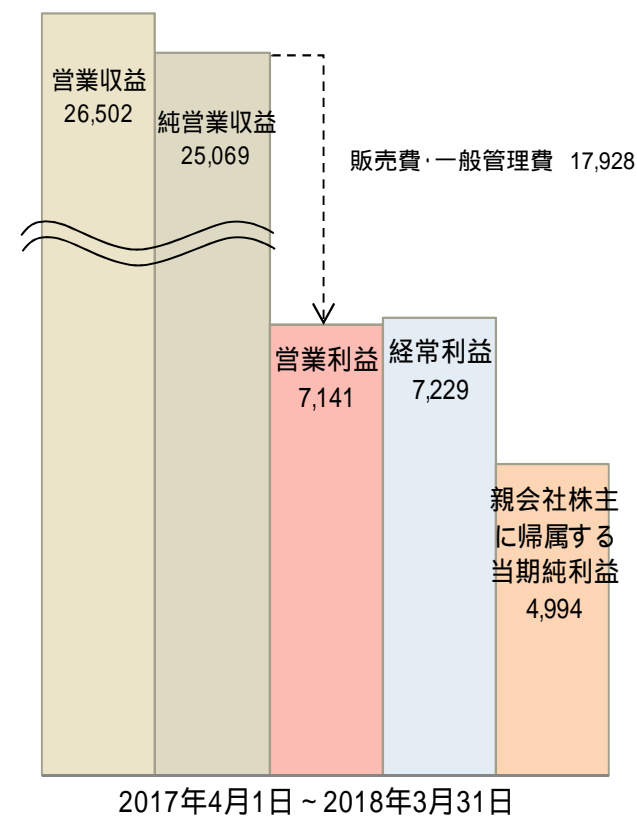
経常利益は、前期比41億5,100万円(134.9%)増加の72億2,900万円

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比28億1,100万円(128.8%)増加の49億9,400万円

(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
営業収益	20,714	26,502	27.9%	5,787
純営業収益	19,338	25,069	29.6%	5,730
販売費・ 一般管理費	16,344	17,928	9.7%	1,583
営業利益	2,994	7,141	138.5%	4,147
経常利益	3,077	7,229	134.9%	4,151
特別損益	22	56		33
法人税等	853	2,156	152.7%	1,303
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,183	4,994	128.8%	2,811

(単位:百万円)



2. 純営業収益の内訳

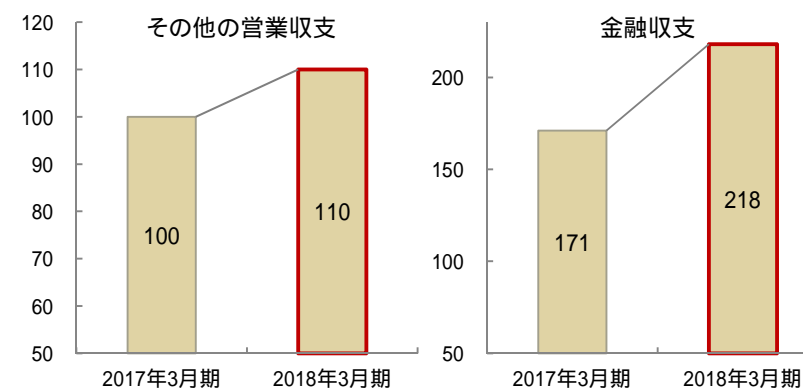
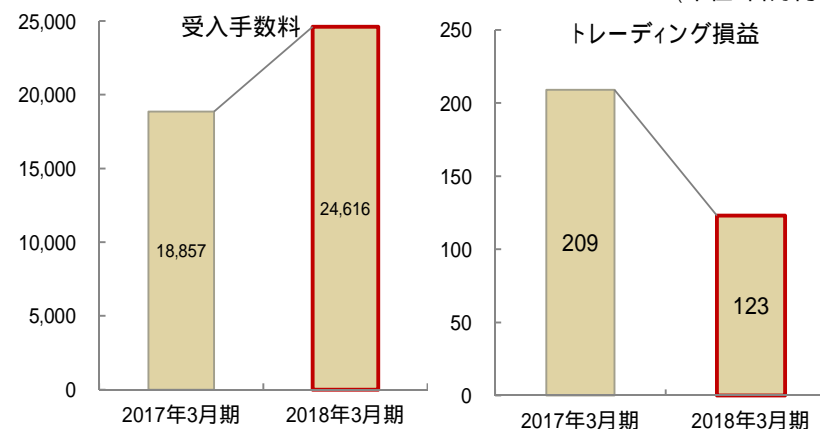
受入手数料は、株券の委託手数料、投資信託の募集・売出手数料及びその他の受入手数料(信託報酬等)の増加等により前期比57億5,800万円(30.5%)増加の246億1,600万円

トレーディング損益は、債券等のトレーディング損益の減少等により前期比8,500万円(41.0%)減少の1億2,300万円

(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受入手数料	18,857	24,616	30.5%	5,758
トレーディング 損益	209	123	41.0%	85
その他の 営業収 支	100	110	10.5%	10
金融収 支	171	218	27.6%	47
合計	19,338	25,069	29.6%	5,730

(単位:百万円)



3. 受入手数料の内訳

株券の委託手数料は、前期比28億1,800万円(41.4%)増加の96億3,000万円、投資信託の募集・売出し手数料は、前期比11億4,700万円(20.6%)増加の67億400万円、その他の受入手数料(信託報酬等)は、前期比14億8,100万円(28.5%)増加の66億7,000万円

引受け・売出し手数料は、主幹事4社を含む新規公開企業30社、既公開企業に係る市場変更及び公募・売出しは7社の幹事・引受けシンジケート団加入となり、前期比2億800万円(57.7%)増加の5億7,000万円

(単位:百万円)

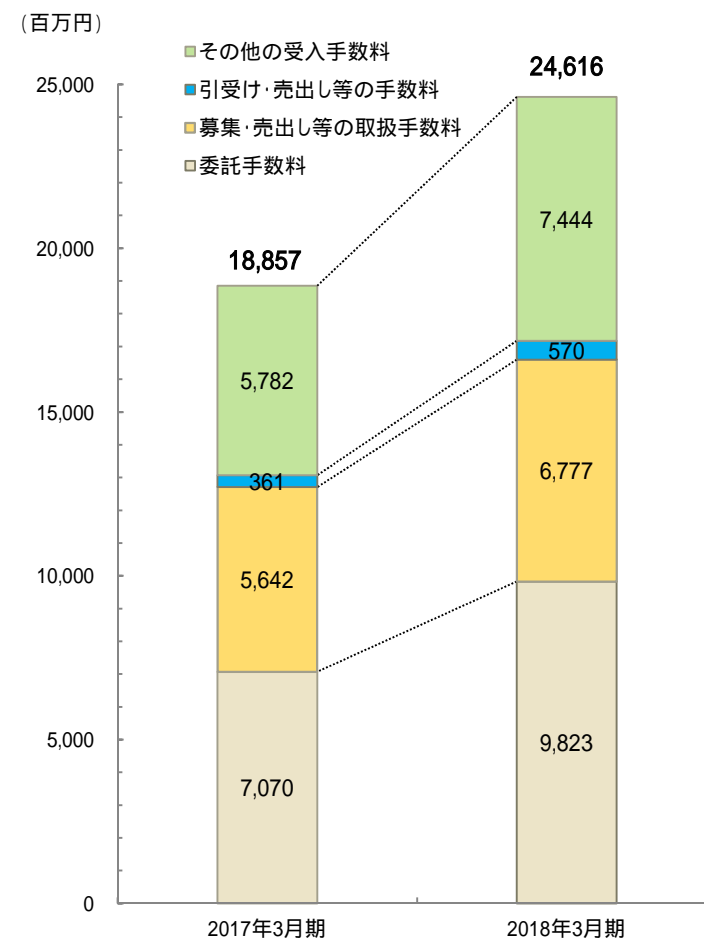
	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受 入 手 数 料	18,857	24,616	30.5%	5,758
委託手数料の主な内訳				
株 券	6,812	9,630	41.4%	2,818
募集・売出し手数料の主な内訳				
投 資 信 託	5,556	6,704	20.6%	1,147
引受け・売出し手数料の主な内訳				
新 規 公 開	108	389	257.7%	280
既 公 開	252	180	28.5%	72
計	361	570	57.7%	208
その他の受入手数料の主な内訳				
信 託 報 酬 等	5,189	6,670	28.5%	1,481
信 託 報 酬 等 以 外	593	773	30.4%	180
計	5,782	7,444	28.7%	1,661

<参考>

(単位:億円)

投 信 募 集 額	2,732	3,519	28.8%	787
-----------	-------	-------	-------	-----

ラップ販売額を含む。

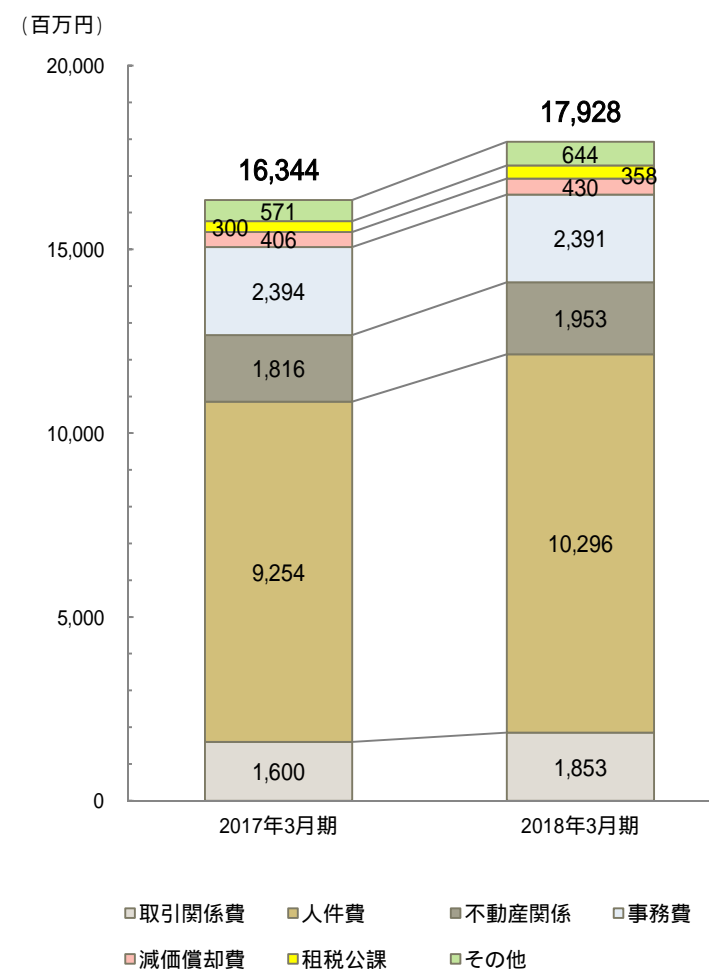


4. 販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、人件費、取引関係費等の増加により前期比15億8,300万円(9.7%)増加の179億2,800万円

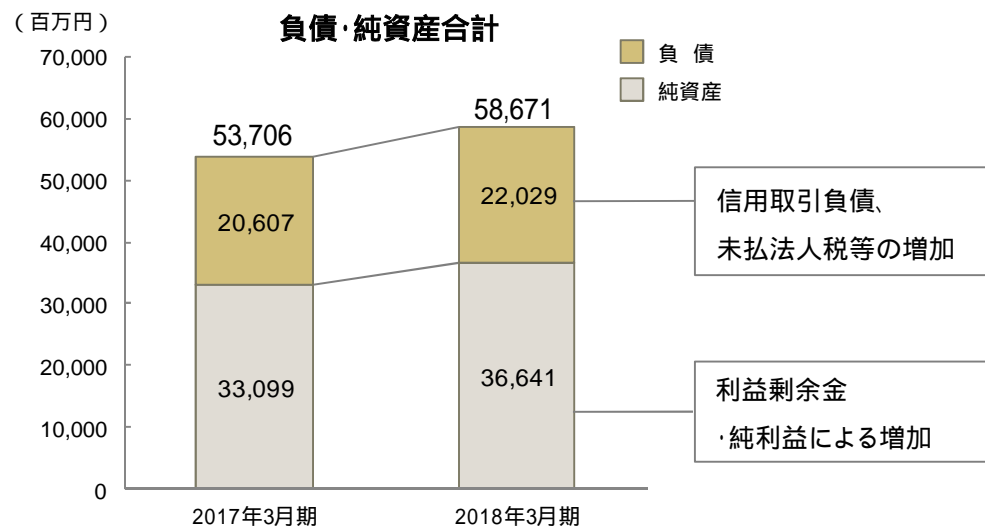
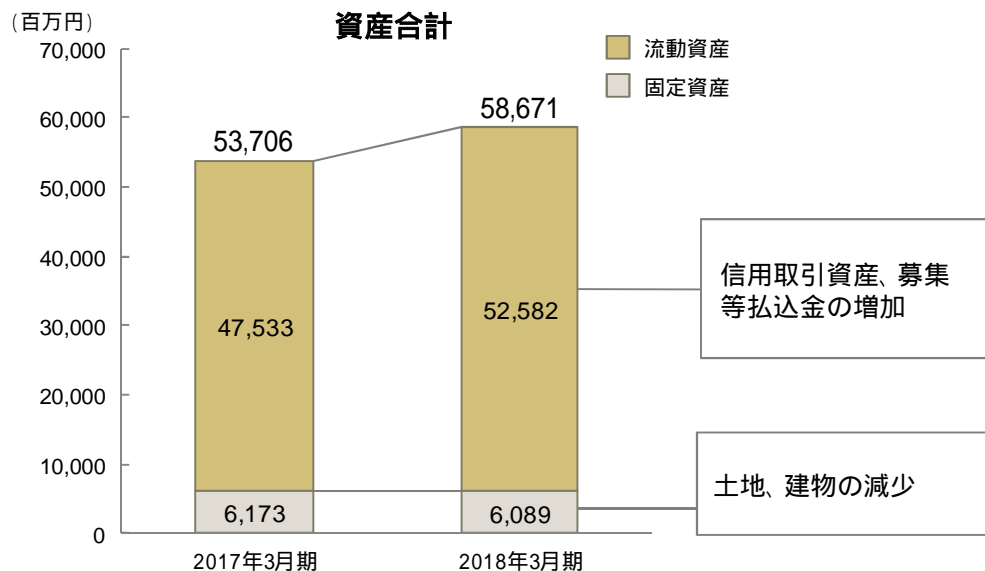
(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
取引関係費	1,600	1,853	15.8%	253
人件費	9,254	10,296	11.3%	1,041
不動産関係費	1,816	1,953	7.6%	137
事務費	2,394	2,391	0.1%	3
減価償却費	406	430	6.0%	24
租税公課	300	358	19.3%	57
その他	571	644	12.6%	72
合計	16,344	17,928	9.7%	1,583



5. 貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表



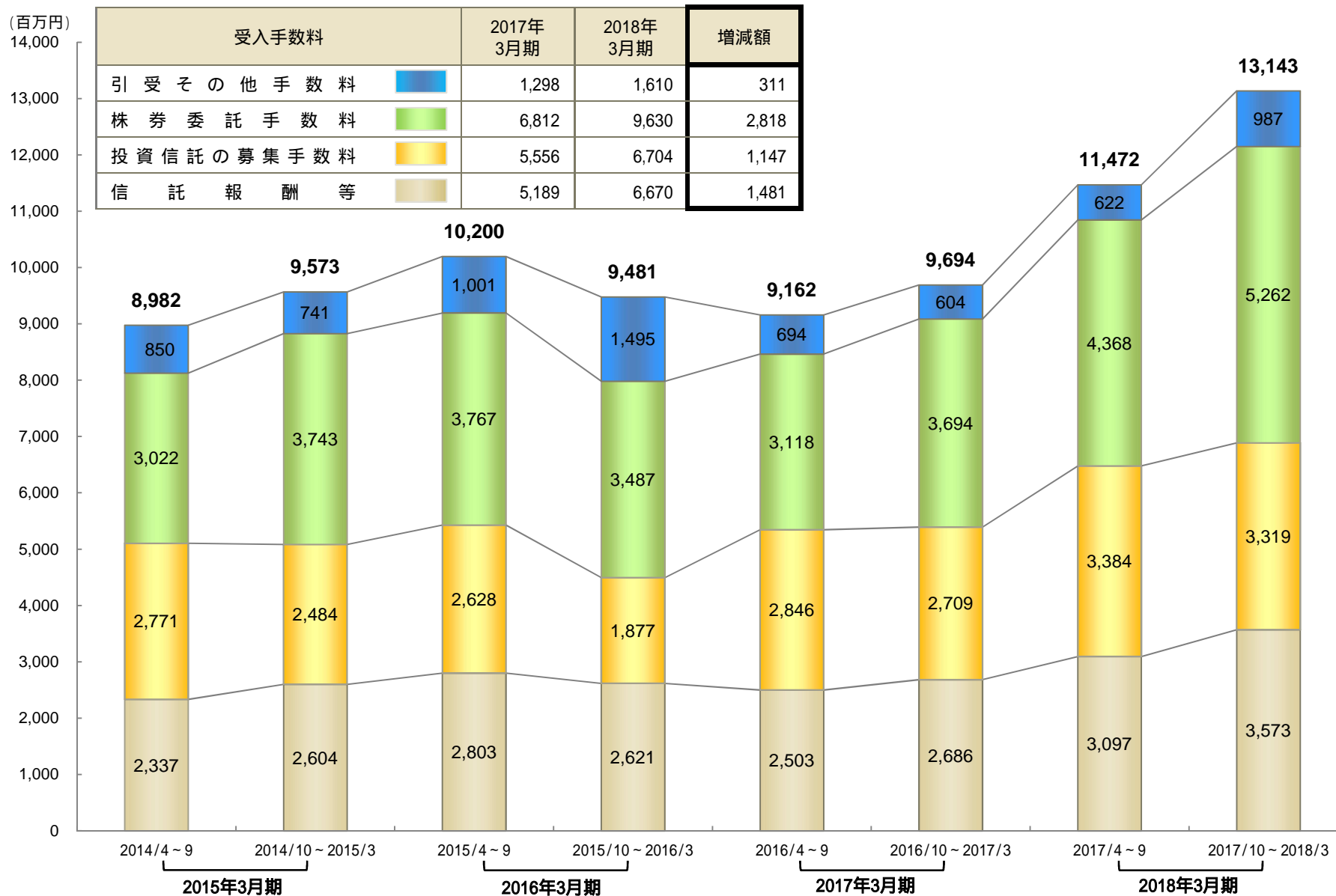
財務の状況

	2018年 3月期	前期末比 増減
自己資本比率 (%)	61.9	0.8
1株当たり純資産 (円)	850.09	80.9
自己資本規制比率 (単体)(%)	600.4	8.5

	2018年 3月期	前期比 増減
1株当たり純利益 (円)	117.00	66.11
自己資本純利益率 (ROE)(%)	14.5	7.9

第二部：業績のハイライトと中期経営計画の進捗状況

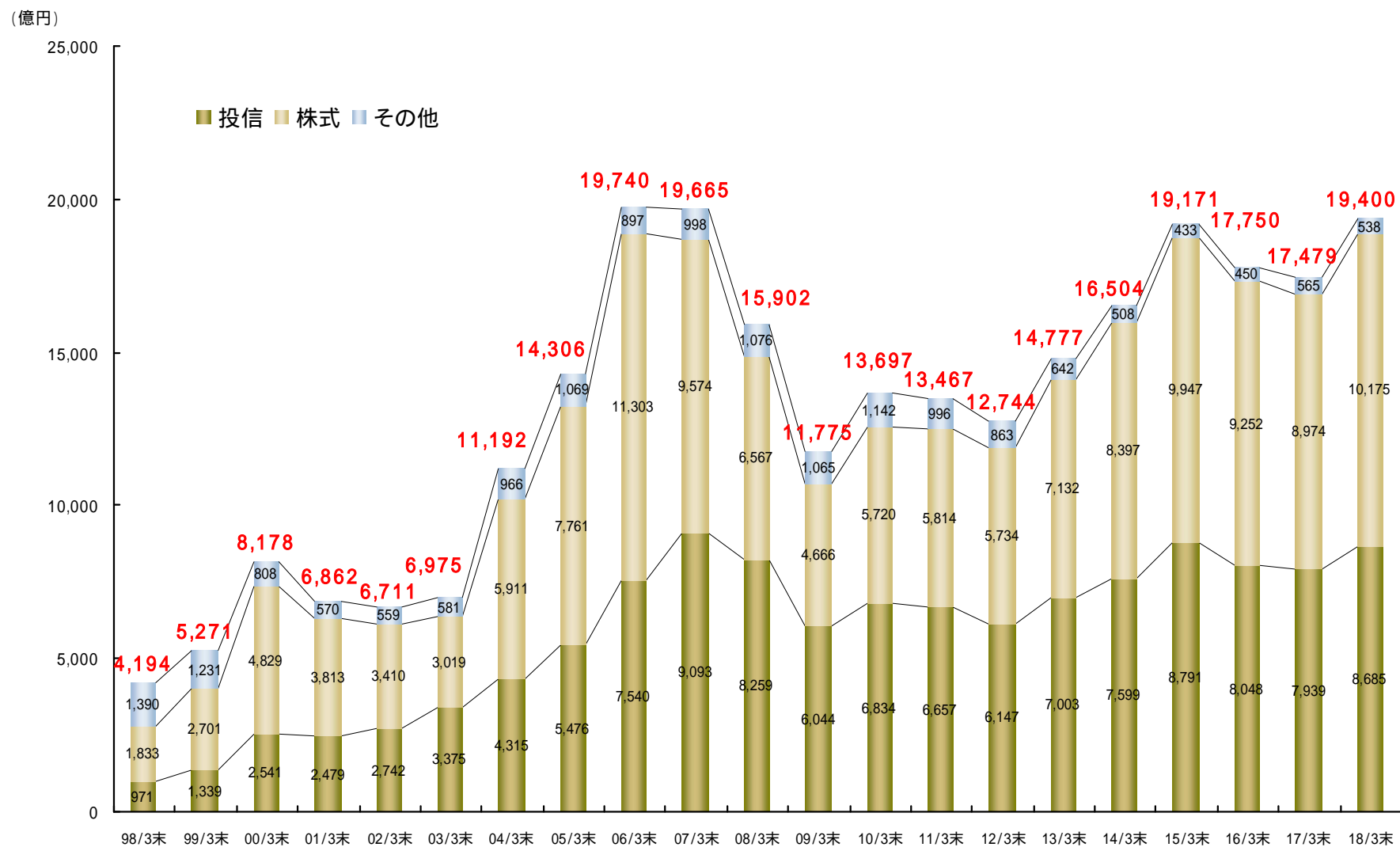
1. 受入手数料の推移



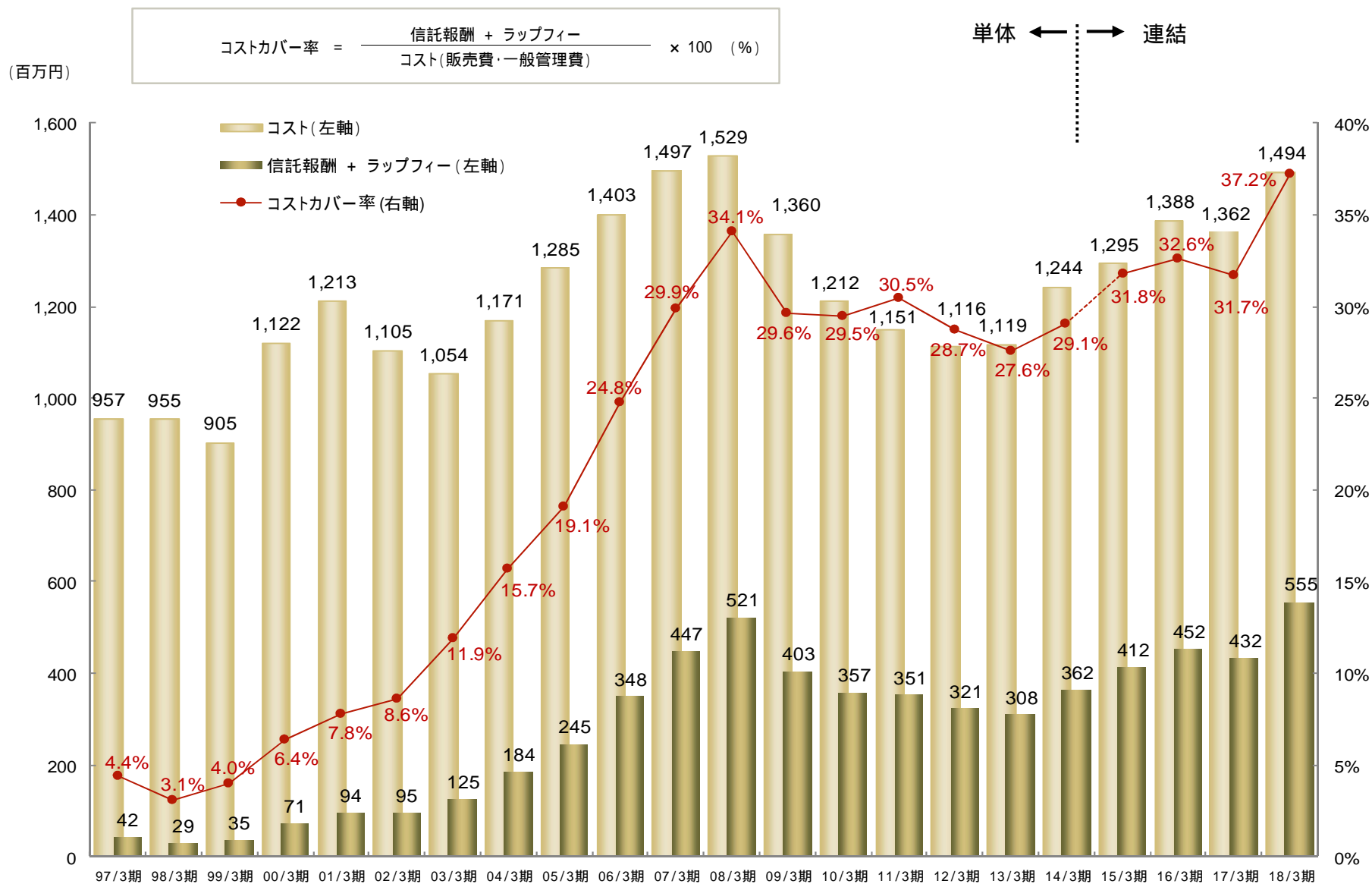
2. 預り資産の推移

預り資産

お客様からの信頼のバロメーター
いちよし証券の基礎体力のバロメーター

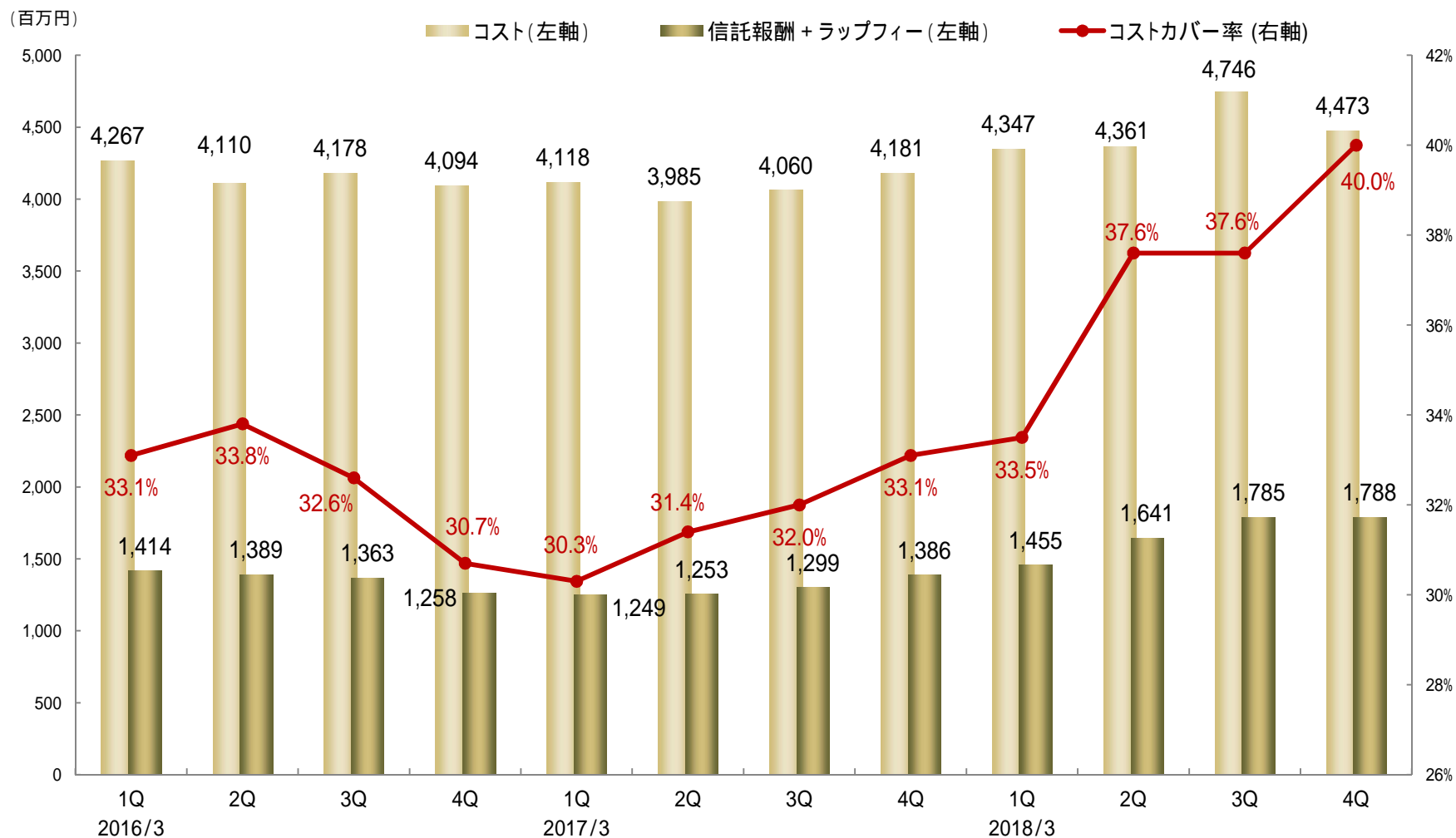


3. コストカバー率(月額平均)の推移

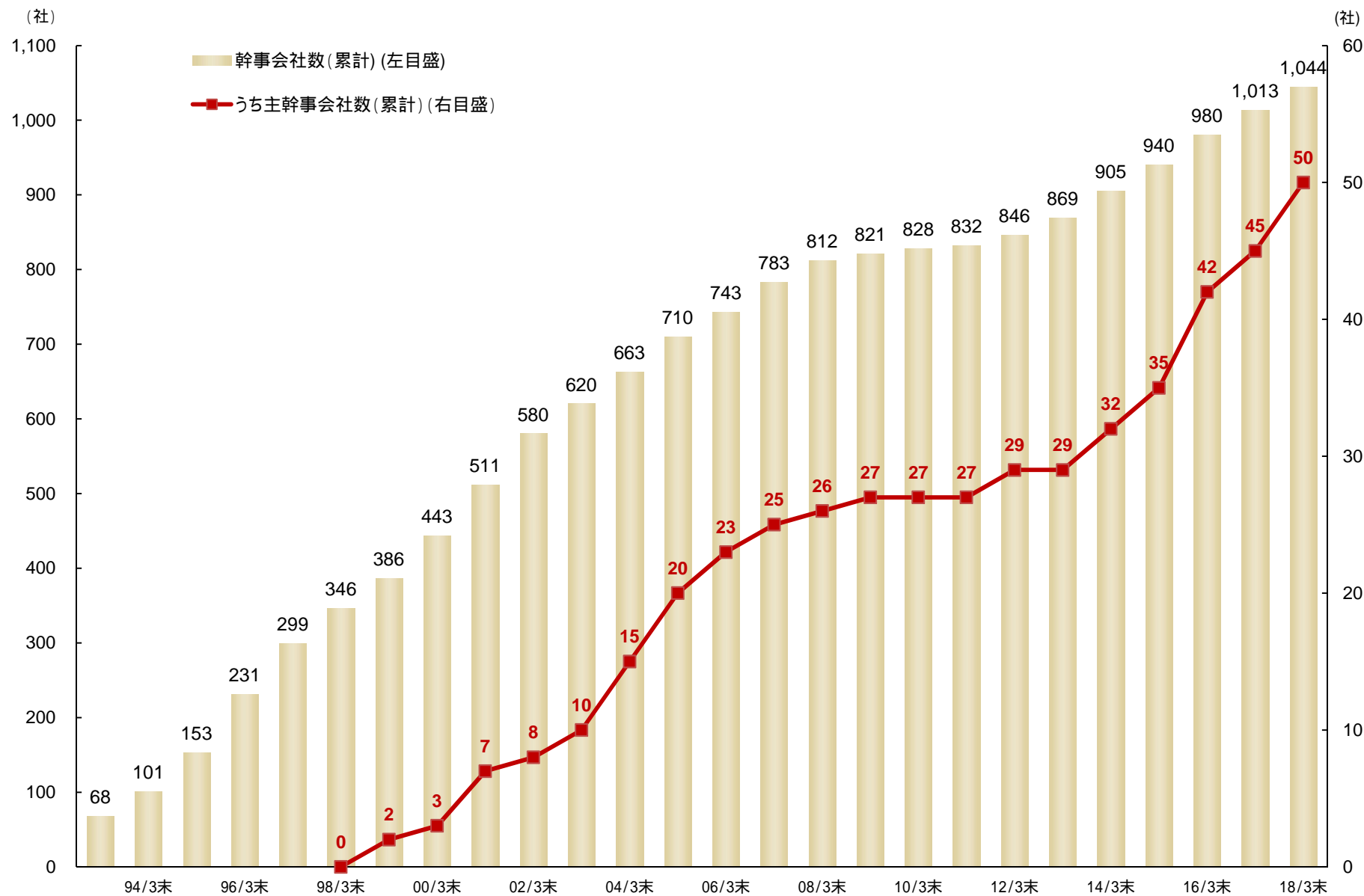


4. コストカバー率(四半期)の推移

$$\text{コストカバー率} = \frac{\text{信託報酬} + \text{ラップフィー}}{\text{コスト(販売費・一般管理費)}} \times 100 (\%)$$



5. 幹事会社数の推移(累計)



2016.9

預り資産	16,532
株式	8,575
投信	7,102
ラップ	402
債券(その他)	451

(単位:億円)

ROE 6.6%

(2017年3月期第2Q累計年率換算)

主幹事44社

2018.3

預り資産	19,400
株式	10,175
投信	7,813
ラップ	872
債券(その他)	538

(単位:億円)

ROE 14.5%

主幹事50社

2020.3

預り資産	35,000
株式	19,200
投信	13,200
ラップ	2,000
債券(その他)	600

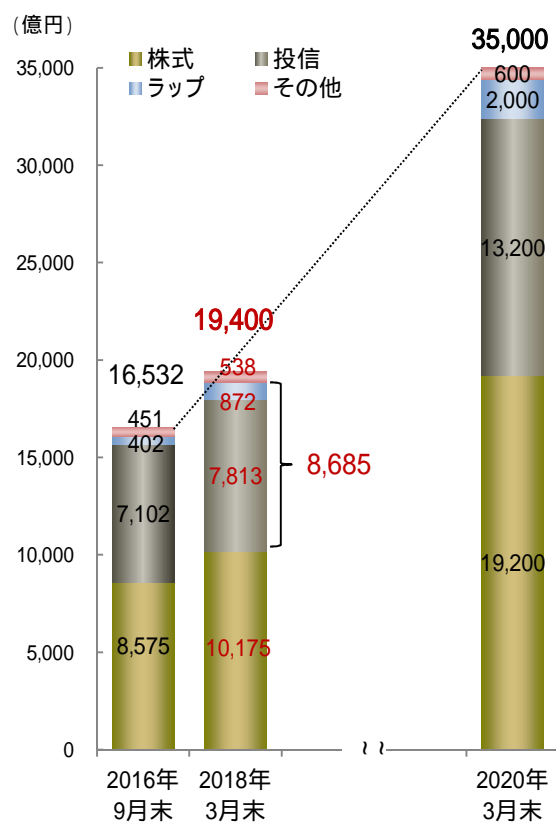
(単位:億円)

ROE 15%以上

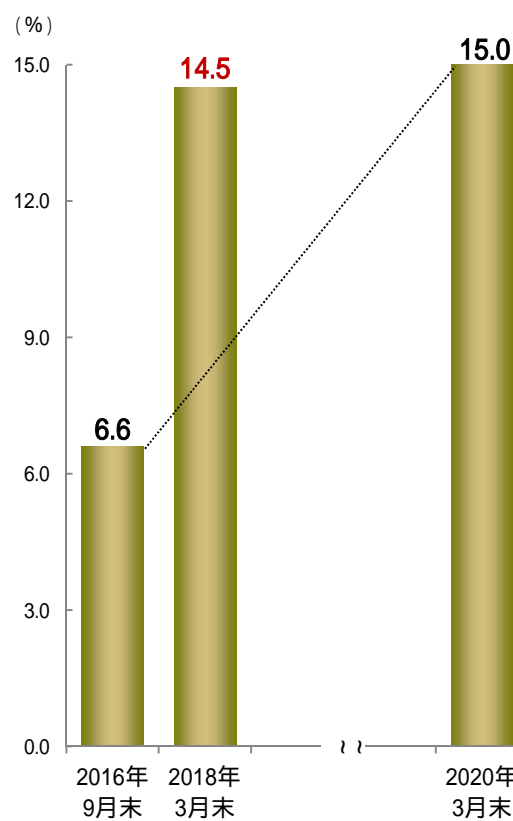
主幹事70社

18ヶ月 / 42ヶ月 の進捗状況

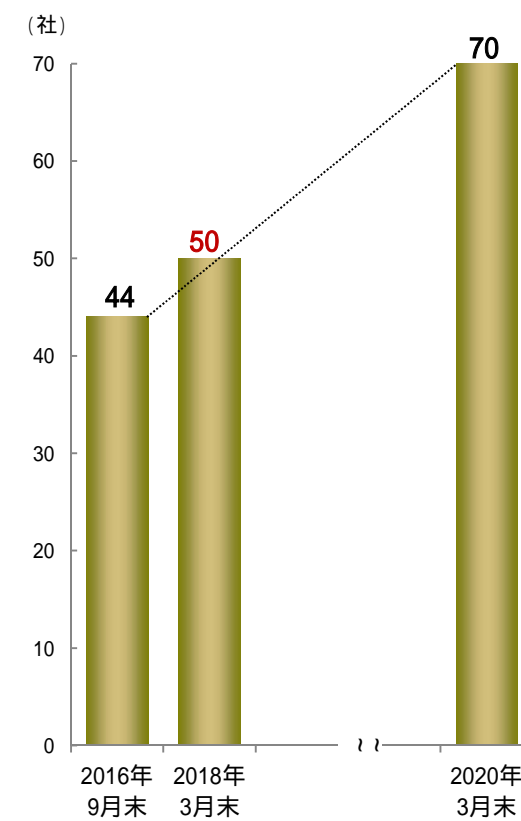
預り資産



ROE



主幹事会社数



第三部：今後の経営戦略

1

中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

2

「トライアングル・ピラミッド経営」による
シナジー効果

3

コーポレート・ガバナンスの強化充実

個人富裕層、地域金融機関に加えて、地域の優良法人を重要な開拓先として預り資産の拡大に取り組む

個人富裕層

「守る・増やす・使う」を基本コンセプトに預り資産を拡大

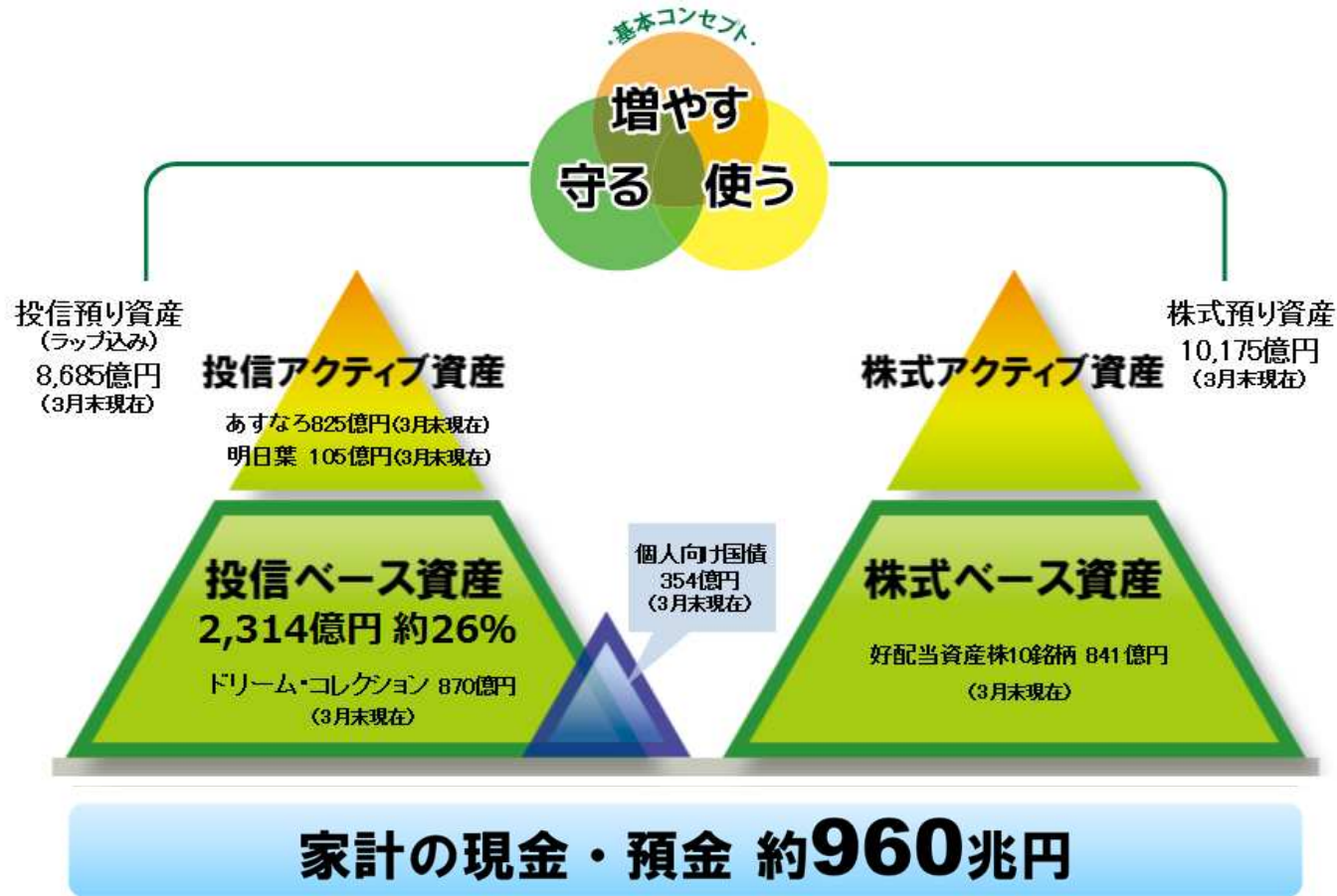
地域の優良法人

手元資金が豊富な優良法人(オーナー、役員含む)の運用ニーズに応える

地域金融機関

「プロ私募」の外交提案強化

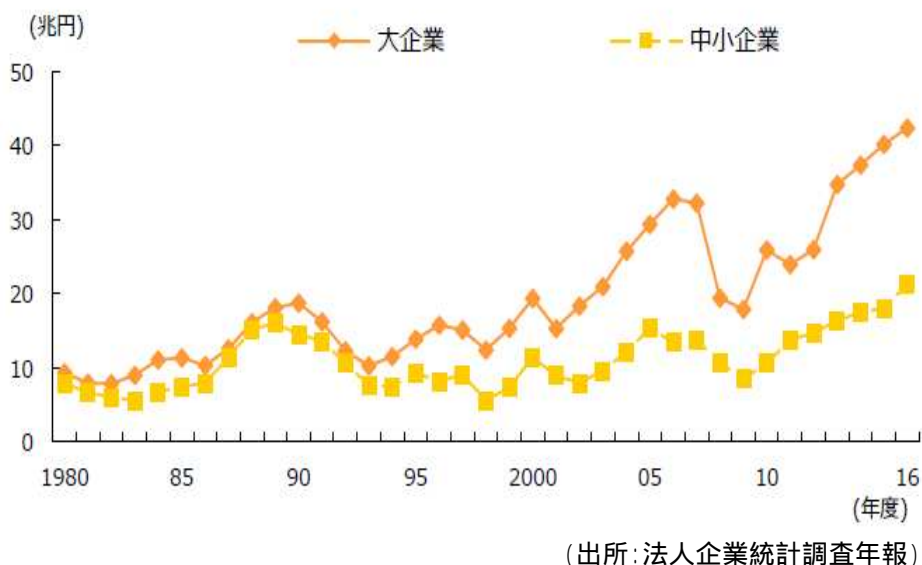
個人富裕層 ~ 「守る・増やす・使う」を基本コンセプトとした提案外交で預り資産を拡大



地域の優良法人 ~ 手元資金が豊富な優良法人
(オーナー、役員含む) の運用ニーズに応える

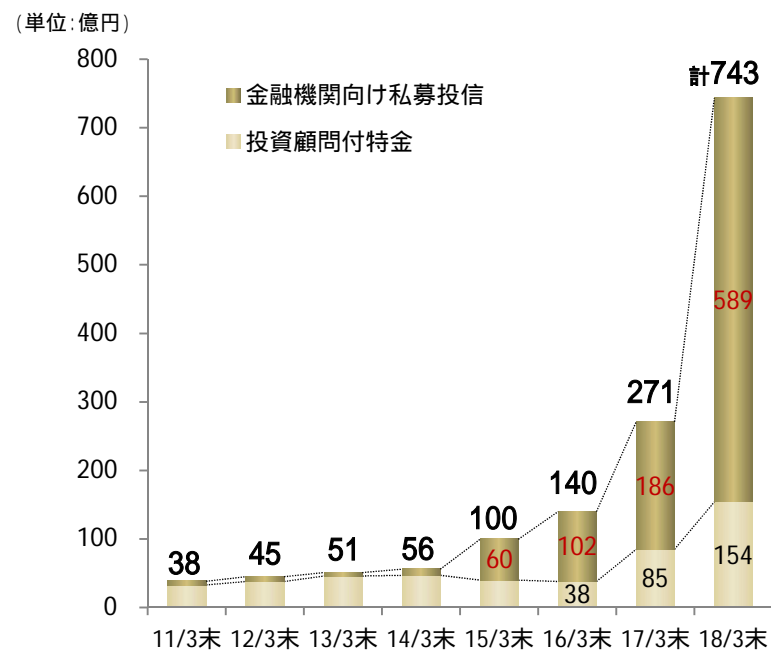
地域金融機関 ~ 「プロ私募」の外交提案強化

企業規模別の経常利益



中小企業の経常利益は、過去最高水準
大企業のみならず中小企業にも経済の好循環が浸透しつつある
環境を捉え、手元資金が豊富な優良法人への外交提案を強化

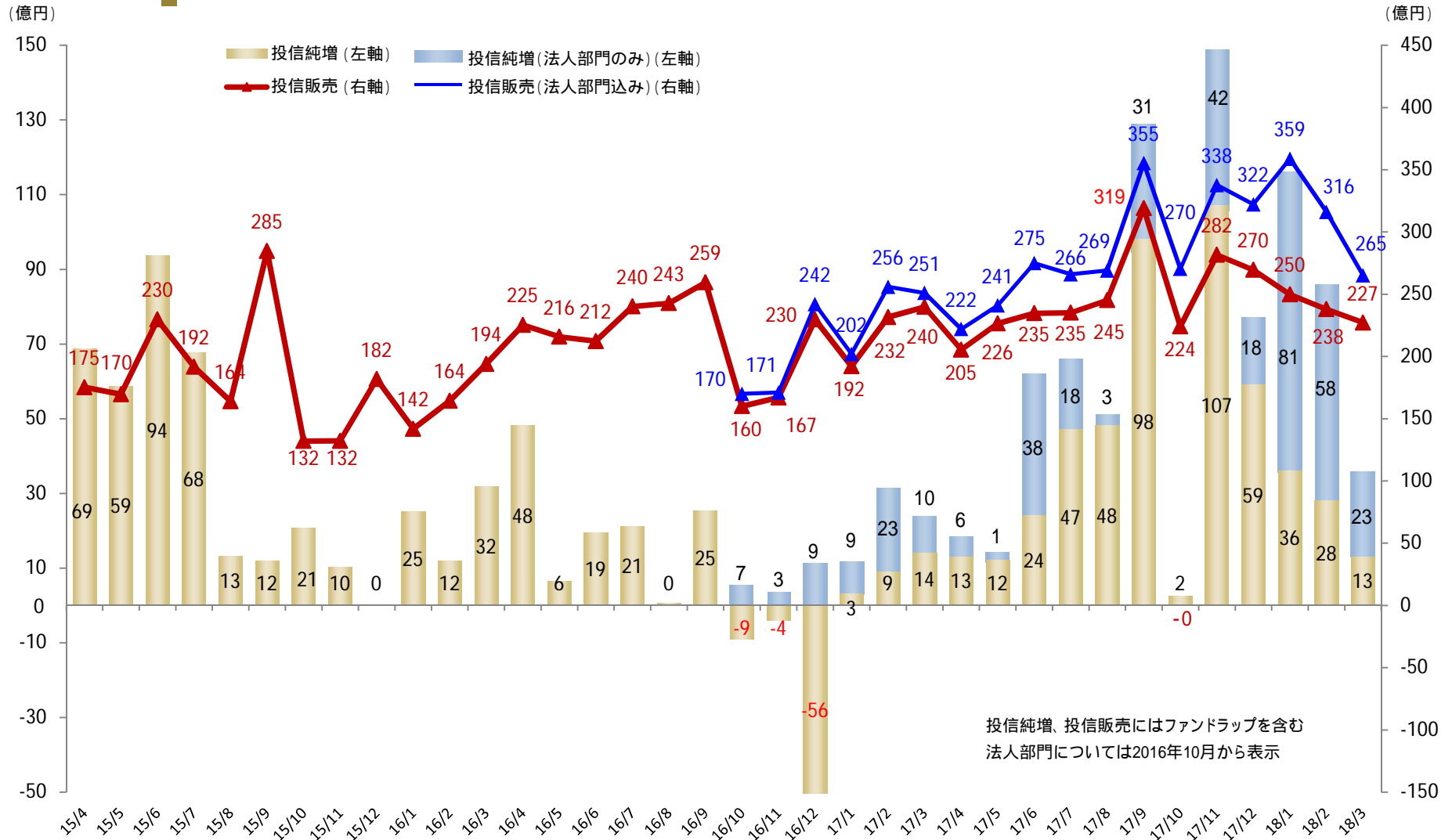
私募投信・特金残高推移



金融機関が国債中心の運用からエクイティを含めた運用
の多様化へシフトしている中、ニーズに対応するため体
制を強化

1. 中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

投信純増（買付-売却）、投信販売の推移



「トライアングル・ピラミッド経営」によるグループの
総合力を最大限に発揮する

リサーチ力

いちよし経済研究所

中小型成長株リサーチ力 国内No.1

運用力

いちよしアセットマネジメント

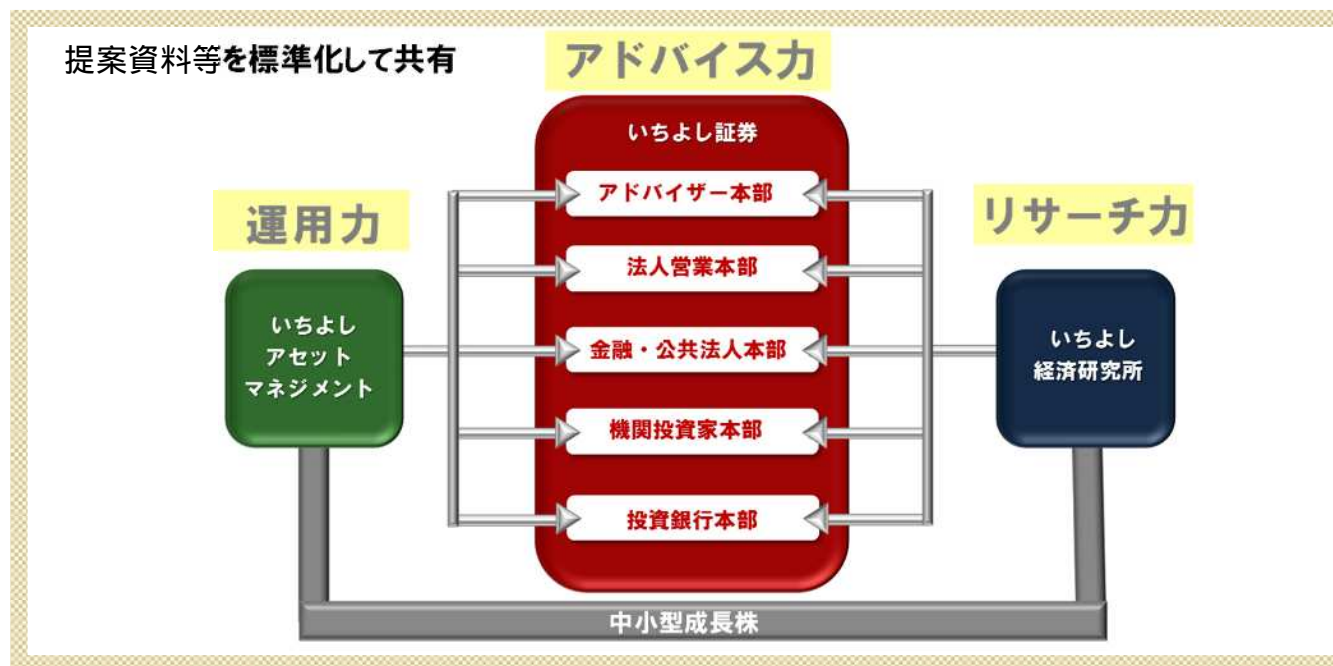
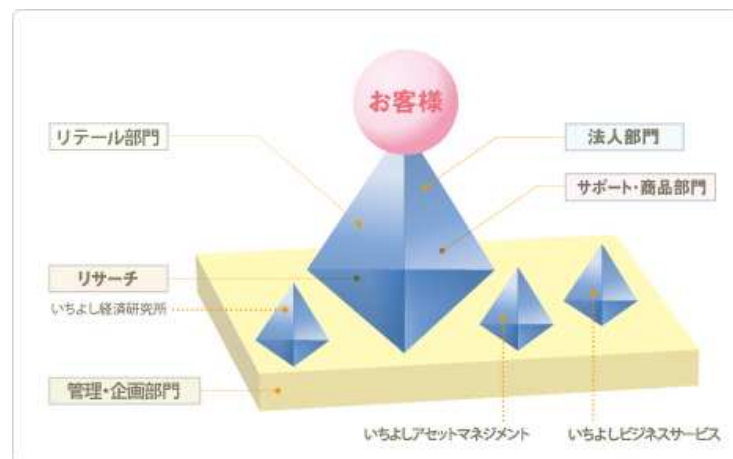
運用資産残高は1年で倍増

アドバイスカ

いちよし証券

アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル
2つの特化戦略

「トライアングル・ピラミッド経営」



いちよし経済研究所の「リサーチ力」

18名のアナリストを擁し、一人あたり月間平均14本の個別企業レポートを発行

中小型・新興市場のカバー率はトップ

(レポート作成企業数 約720社、ユニバース企業数 約520社、レーティング企業数 約250社)

新興市場部門アクセス比率ランキングにて14年連続第1位

2017年ベストリサーチハウス・ランキング

■新興市場部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	いちよし経済研究所	28.39%
2	野村證券	13.41%
3	東海東京調査センター	8.86%
4	SMBC日興証券	6.96%
5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	6.41%
6	エース経済研究所	6.29%
7	大和証券グループ	6.15%
8	みずほ証券	6.06%
9	クレディ・スイス証券	2.56%
10	岩井コスモ証券	2.52%

■1部・2部市場部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村證券	13.03%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	11.55%
3	みずほ証券	9.17%
4	SMBC日興証券	8.20%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.29%
6	JPモルガン証券	6.31%
7	シティグループ証券	5.60%
8	大和証券グループ	4.86%
9	いちよし経済研究所	4.58%
10	東海東京調査センター	4.29%

■銘柄・セクター部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村證券	15.12%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	12.18%
3	みずほ証券	8.63%
4	SMBC日興証券	7.84%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.30%
6	JPモルガン証券	6.24%
7	シティグループ証券	5.25%
8	大和証券グループ	4.80%
9	ゴールドマン・サックス証券	4.33%
10	いちよし経済研究所	4.24%

(出所: J-MONEY2018Spring)

英文レポートの充実を図り、海外投資家のニーズにも対応

いちよしアセットマネジメントの「運用力」

5名のファンドマネージャーによるボトムアップリサーチに基づいた中小型株式のアクティブ運用

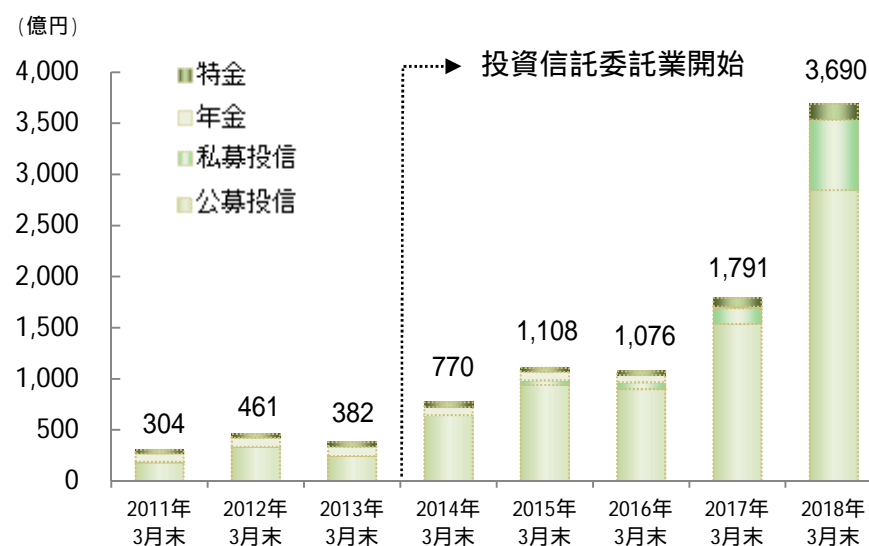
いちよし中小型成長株ファンド（愛称：あすなる）は国内中小型株ファンドの純資産残高日本一

いちよしアセットマネジメント 運用資産残高の推移

【参考】国内中小型株ファンド純資産残高上位5位

順位	ファンド名	純資産
1	いちよし中小型成長株ファンド	920億円
2	SBI中小型割安成長株ファンド	543億円
3	日本厳選中小型株ファンド	514億円
4	ニッポン中小型株ファンド	366億円
5	フィデリティ・日本小型株・ファンド	359億円

(投資信託協会のホームページをもとにいちよし証券作成 2018年5月31日現在)



営業収益	101	137	184	280	577	1,000	1,158	2,570
当期損益	37	5	61	104	273	277	289	740

(単位:百万円)

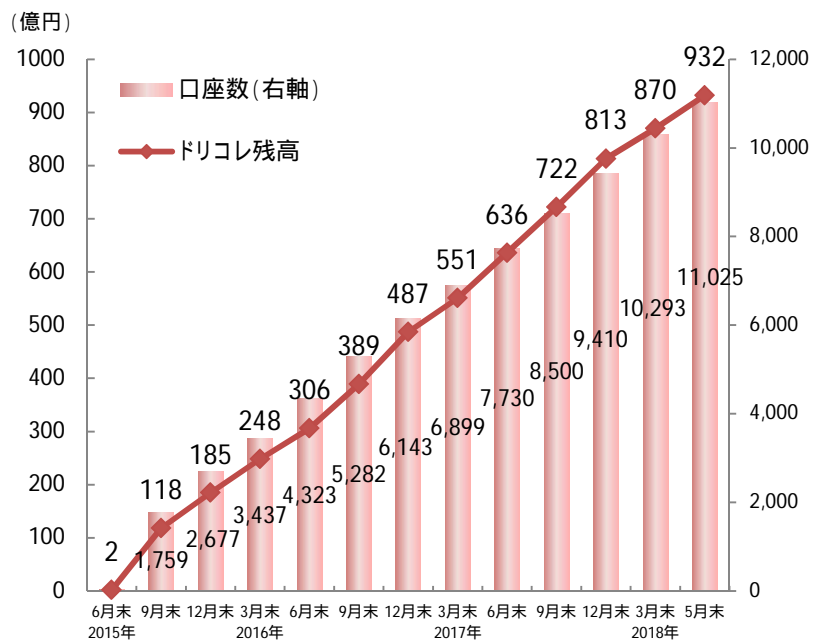
いちよし証券の「アドバイス力」

アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル

2つの特化戦略 [個人富裕層の金融資産運用サービス特化
 中小型成長株と中堅企業、地域金融機関のニーズ対応サービス特化

ドリコレ 残高推移

いちよしファンドラップ「ドリーム・コレクション」の愛称



あすなる 残高推移

いちよし中小型成長株ファンドの愛称



当社は、コーポレート・ガバナンスを経営における最重要課題の一つとしています

いちよしの credo (企業理念)

「いちよしの credo」の下、経営の公正性及び透明性を高めた機動的かつ適切な意思決定の実行

サステナビリティ

事業活動を通じ、環境・社会・経済に与える影響を考慮した当社の持続可能な成長の実現

株主還元

適切な利益還元の継続と更なる充実

いちよしのクレド

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝 誠実 勇気 迅速 継続

Long Term Good Relation

社員のために

社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神

情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい

チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

株主のために

持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元

事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示

経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

お客様のために

一人、一人の『いちぼん』でありたい

お客様第一

常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスをを行います。

良質なサービス

社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

社会のために

金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任

法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献

企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

いちよし基準

個人のお客様向け商品についての原理原則



売れる商品でも、
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。

【いちよし基準】＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 外国株は投信での保有をお勧めします。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX(外為証拠金取引)は取り扱いません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

お客様の資産を安全・着実にじっくりと増やしていくための、お役に立ちたいというのが当社の社員の思いです。単に商品の品揃えをするだけでなく、私たちがご紹介する商品やサービスがいつもお客様の大切な資産を安心して中長期に保有して頂けるよう、あえてお断りする事があります。私たちは、お客様に信頼して頂き、より長い間お付き合いをして頂くことを目指します。


選ばれ続ける証券会社へ。

いちよし証券

サステナビリティ ~ 持続可能な成長のために ~ 当社の社会貢献活動の一例

			
 公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン  特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構	国際環境NGO  FoE Japan	 認定NPO法人 世界の医療団	 公益財団法人 日本盲導犬協会
校舎建設プロジェクト 東アジア8ヶ国に 11校建設 (1996年～2017年6月) <small>※一吉中甸友誼小学校含む</small>	いちよしマングローブの森 プロジェクト 累計植林数 約285,000本 (2009年～2017年3月) <small>※「気候変動緩衝を受けるコミュニティ支援プロジェクト」 2015年より同時進行中</small>	人道医療支援プロジェクト マラリア治療薬 約9,900人相当 (2009年～2018年3月)	いちよし盲導犬育成 プロジェクト 盲導犬 5頭がデビュー (2005年～2018年3月)


当社の社会貢献活動はここから始まりました

 中国 雲南省中甸県
一吉中甸友誼小学校

1996年2月、中国の雲南省でマグニチュード7の大地震が発生しました。この大震災からの復興を願い小学校の建設資金を寄付しました。

いちよし盲導犬育成プロジェクト

2005年度から公益財団法人日本盲導犬協会を支援しております。2009年度からは「いちよし盲導犬」の育成に取り組んでおり、これまでに5頭のいちよし犬が盲導犬としてデビューしています。現在、第6号候補犬の「ダレン」が訓練中です。繊細で素直な性格をしており、盲導犬の基本的な動作「左に寄る」や「障害物をよける」が特に得意です。ダレンの応援を宜しくお願いいたします。



- 2015年に「持続可能な開発目標」(SDGs)が国連総会で採択され、当社としてサステナビリティ向上に向けた努力と、その結果としてのESG情報の積極的な開示は、社会の一員としての重要な責務と考えます
- 本業を通じて貢献していくほか、社会貢献活動、その他、様々な取り組みを行ってまいります

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）



環境

気候変動	<ul style="list-style-type: none"> ● いちよしマングローブの森プロジェクト ● 気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト 	
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に配慮したFSC(R)森林認証紙使用 ● 植物油インクの使用 ● 名刺への再生紙使用 	
温室効果ガスの排出削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷暖房の温度の適正化 ● 省エネ型商品・機器の利用 ● 社有車のエコカーへの切替 	

ガバナンス

コーポレート・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンスの強化 	
リスク・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ● リスク管理体制の整備・強化 ● 財務の健全性と透明性の確保 ● 環境・社会リスクへの対応 	
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令遵守と違反の報告 ● 公正な金融取引の徹底 ● 贈収賂の防止 ● マネーロンダリングの防止 	

社会

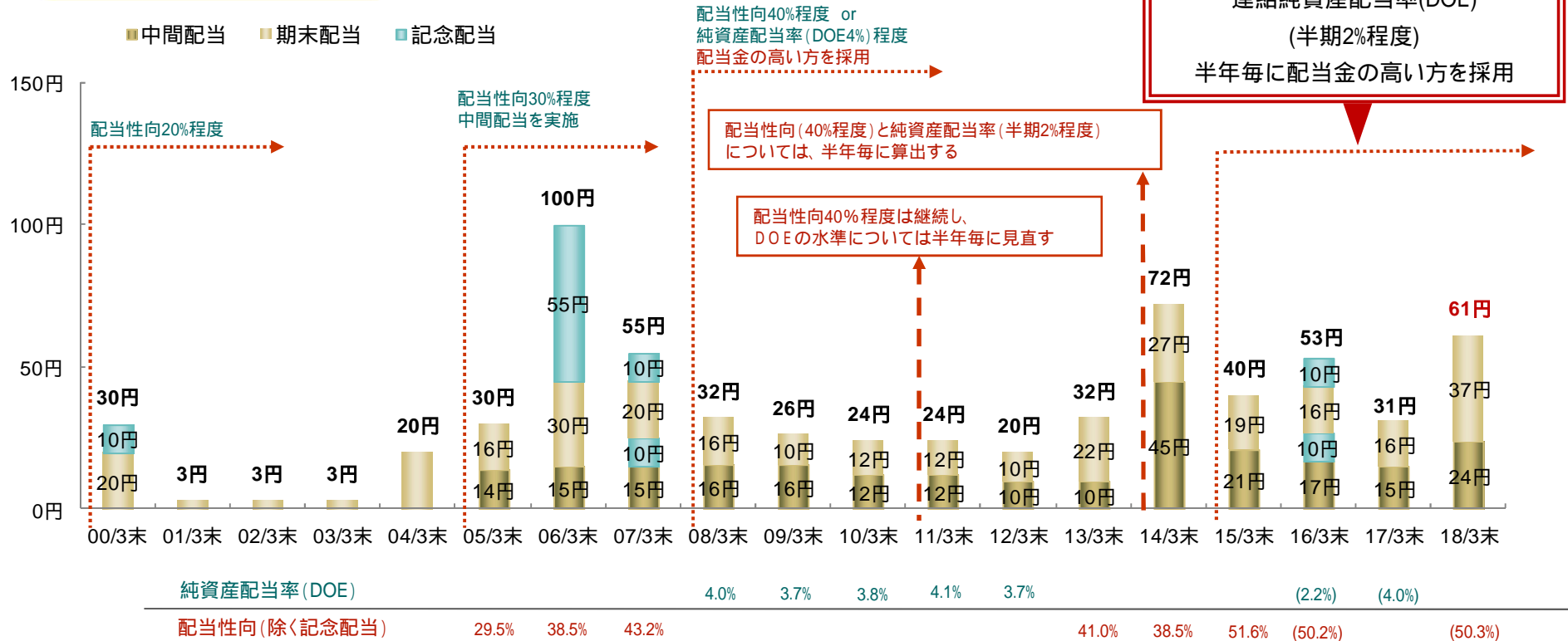
健全かつ持続可能な資本市場への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 高品質な金融サービスの提供 ● 環境・社会的課題に対応する商品・サービスの提供 ● 顧客保護と情報セキュリティ ● 金融リテラシーの向上 	
多様性を尊重した人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成 ● ダイバーシティ ● 働きやすい職場づくり ● 女性活躍推進 	
盲導犬の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● いちよし盲導犬育成プロジェクト 	
人道医療支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ラオス小児医療プロジェクト 	
教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 校舎建設プロジェクト 	

- ・ 「いちよしの credo」（企業理念）の実現のために取り組むべき課題を整理し、SDGs等が提示する社会の課題解決に向けて、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を選定しました
- ・ 今後、経済価値・環境価値・社会価値の同時実現を目指す姿勢を改めて掲げ、ステークホルダーのみなさまとの対話のベースとして活用してまいります

3. コーポレート・ガバナンスの強化充実

配当の状況

配当額・配当性向等の推移 (1株当たり)



自己株式の消却

期間	取組	株数	単価	消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い / 消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い / 消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い / 消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		27.9%

16/3末については、中間配当につき配当性向、
期末配当につきDOEを採用
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

(参考)
2018年3月末発行済株式数 44,431,386株
(うち自己株式 1,699,220株)

JCGインデックスにおいて金融機関の第1位

・日本コーポレート・ガバナンス研究所が公表している「JCGインデックス」において総合2位、
金融機関では1位に選定

日本コーポレート・ガバナンス研究所
「JCGインデックス」(2017年)

順位	前回 順位	JCG Index	企業名
1	1	89	ソニー株式会社
2	2	80	いちよし証券株式会社
3	5	79	イーザイ株式会社
3	2	79	株式会社日立製作所
5	8	78	コニカミルタ株式会社
5	2	78	オムロン株式会社
5	5	78	スミダコーポレーション株式会社
8	-	76	***(2社)

()内は公表を希望しない会社数

JCG Index 当社の推移		
年	順位	JCGIndex(点)
2017年	2位	80点
2016	2	79
2015	2	78
2014	2	78
2013	2	77
2012	12	74
2011	9	74
2010	8	71
2009	18	72

出所:日本コーポレート・ガバナンス研究所
ランキングは2018年2月公表

当社の主な取組み

- ・ガバナンス体制
 - 2000年 社外取締役の導入
 - 2003年 現在の指名委員会等
設置会社制度を導入
- ・株主総会
 - 2001年 土曜日開催
 - 2002年 株主懇談会開催
 - 2005年 会場をホテルで開催
- ・IR活動
 - 2000年 機関投資家向け、
個人投資家向け説明会
を開始
 - 2005年 海外機関投資家向け
説明会を開始

いちよし証券株式会社 広報室

TEL:03-3555-6343 FAX:03-3555-2165

<https://www.ichiyoshi.co.jp>

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更することもあります。

この資料は2018年3月31日現在のデータに基づき作成しております。

商号等:いちよし証券株式会社 金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第24号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

2018年6月作成

当社提供番組のご案内



いちよし証券

提供番組のご案内

「暦を歩く」

日本には四季がある、歌がある。



「吉野の桜」(奈良県 吉野山) 撮影/山本亮



「楷の木」(岡山県 備前) 撮影/時岡総一郎



「水無月」(滋賀県 醒井) 撮影/安田浩一

歌い継がれてきた「和歌」や「俳句」、
「唱歌」や「童謡」を口ずさむと去来する、どこか懐かしい思い。
それぞれの歌に息づく日本人の原風景を、一篇の詩のような美しい映像でお届けします。



毎週日曜よる8時54分～ 放送中

語り/長谷川 勝彦

企画協力/CFA

制作/BS朝日

